

広島交響楽団

Hiroshima Symphony Orchestra The 460th Subscription Concert

第460回定期演奏会

ヴォーン=ウィリアムズ

ソレント海峡

Vaughn Williams: The Solent

ヴォーン=ウィリアムズ

ピアノ協奏曲ハ長調

Vaughn Williams: Piano Concerto in C major

バックス

交響曲第6番

Bax: Symphony No.6

コンサートマスター: 北田千尋

Concertmaster: Chihiro Kitada

広響の挑戦と、新たな物語の始まり。



ピアノ
ミシカ・ラシュディ・モーメン
Piano: Mishka Rushdie Momen

©Benjamin Ealovega

主催／公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

未来を、ひろげる。

プレミアム協賛／ ひろぎんHD

後援／広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、ちゅビCOM、月刊ウェンディ出版局



指揮
ジョシュア・タン
Conductor: Joshua Tan

初づくし

2026年度の広響定期演奏会の開幕は、指揮者・ソリストとの初共演。演奏曲目も全曲広響初という。世間一般で「初物」は縁起が良いとされているが、オーケストラにとって初めて演奏する曲を初めての指揮者、初めてのソリストと演奏しなくてはならず、これは相当に大変なことである。おそらく広島の聴衆にとっても(生演奏では)初めて聴く演目が並んでいると思われる。しかしながら、この珍しい英国プログラムを眺めるに、なんと魅力的だろうか。ソレントの静かな佇まい、ピアノ協奏曲での技巧(難しそうで後に2台ピアノに改作)と素朴さ。まるで映画音楽のようなバックスの交響曲。広響の挑戦と新たな物語が始まる。

2026.4.18(土) 15:00開演
[14:00開場]

Saturday, April 18, 2026 Start 15:00 [Open 14:00]

広島文化学園HBGホール 広島市中区加古町3-3
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

チケット(税込/全席指定)/S席6,000円・A席5,500円・B席4,800円(学生1,500円)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局電話のみで取り扱い)

チケット発売日/2026年2月17日(火)

チケット取扱い/広響webチケット、広響事務局



©S.Yamamoto

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

お申し込み・お問い合わせ

広響事務局 TEL:082-532-3080 <http://hirokyo.or.jp>



広響公式HP

第460回定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The 460th Subscription Concert



指揮：ジョシュア・タン

Conductor: Joshua Tan

シンガポール出身。茱莉アード音楽院を卒業後、中国国家大劇院管弦楽団・コンダクター、シンガポール響アソシエイト・コンダクターを経て、シンガポール・ナショナル・ユース・オーケストラの首席指揮者を務めている。

2008年、ミトロプロロス国際指揮者コンクールで第2位を受賞し、カーネギーホール、ベルリン・フィルハーモニーなどへのデビューをきっかけに国際的な活動を展開。

マリインスキー劇場管、ボン・ベートーヴェン管、フランス国立ロワール管、シドニー響、メルボルン響、ニュージーランド響、香港フィル、台湾フィル、上海響、都響、東京フィル、神奈川フィル、札響などを指揮。デブリースト、デュトワ、ジンマン、マズアらに学び、T.T.トマスやメッツマッハーラのプロジェクトにも参加している。

オペラでは、『椿姫』、『リゴレット』、『ラインの黄金』、『さまよえるオランダ人』、『ローエンリング』、『カルメン』、『ドン・ジョヴァンニ』、『蝶々夫人』、『コジ・ファン・トゥッテ』、『トゥーランドット』など多くの作品を指揮。2018年のバーンスタイン「ミサ曲」のシンガポール初演、翌年の『ドン・パスクワーレ』の指揮はStraits Times紙のベスト・クラシック・コンサートに選ばれた。



ピアノ：ミシュカ＝ラシュディ・モーメン

Piano: Mishka Rushdie Momen

「英国ピアニストの中でも最も思慮深く繊細な一人」(タイムズ紙)と高く評価されるミシュカ＝ラシュディ・モーメンは、その豊かな表現力と深い音楽性で多くの聴衆を魅了している。モーメンは、モーツアルト、ベートーヴェン、シューベルト、シューマンなど古典派・ロマン派の作品を中心に演奏しつつ、ギボンズやラモーの楽曲もレパートリーに加えている。さらに、現代音楽にも情熱を注ぎ、ニコ・ミューリーヤヴィジャイ・アイヤーに新作を委嘱するなど、常に新たな表現を追求している。ルツェルン・サマー・フェスティバルにおいては、エローライーズ・ヴェルネンの『An Inviting Object』の世界初演を果たした。

近年では、デンマーク王立管弦楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、トゥルク・フィルハーモニー管弦楽団、マンハイム室内管弦楽団といった著名なオーケストラと共に演奏し、各地で鮮烈なデビューを飾っている。また、バーミンガム市交響楽団、ドイツ室内アカデミー・ノイスク、イル・ド・フランス国立管弦楽団、ブリテン・シンフォニアとの共演や、ルツェルン交響楽団におけるモーツアルト作品の弾き振りなど、幅広い活動を展開している。そして、今回の広島交響楽団との共演が日本でのオーケストラ・デビューとなる。

次回予告

第461回定期演奏会

2026.5.17(日) 15:00開演
[14:00開場] 広島文化学園HBGホール

コープランド：映画のための音楽

コープランド：クラリネット協奏曲

コルンゴルト：交響曲嬰ヘ調作品40



指揮
ジョン・アクセルロッド



クラリネット
三界達義(広響首席奏者)

